

共同利用施設利用時の注意点



畜産の共同利用施設は、さまざまな農場が入退場します。

特に、共同堆肥舎は、体内から排出されたウイルス等を多く含む糞便そのものを扱いますので、共同堆肥舎からの退場及びその後の農場への入場時は、トラック等の入念な洗浄・消毒をしてください。

また、豚糞を堆肥舎に運搬するときは、ブルーシート等で密閉し、道路等に豚糞を落とさないようしましょう。

ポイント 1

農場外専用
作業服と
長靴を
使用する



農場外専用の作業服・長靴を着用し、作業を行います。

作業終了後、専用作業服等はビニール袋等に密閉し、豚舎内に持ち込まず、速やかに洗濯・消毒等を行います。

消毒の確実な実施については、「**できているはず**」ではなく、第三者に確認してもらいながら行うことが重要です。

ポイント 2

長靴消毒
と
手指消毒



長靴の洗浄・消毒



手指の洗浄・消毒

車両には消毒薬を入れた噴霧器、霧吹き等を常備し、乗り降りの際は、足元、手指を消毒する。

汚れたままだと、汚れと一緒に病原体も自分の農場に持って帰ってしまいます。

ポイント 3

運搬車両の
洗浄・消毒
を徹底

- ① 共同利用施設利用後は、施設を出るときや農場入口（必ず農場に入る前で、車体、タイヤ、運転席、特に**荷台**を念入りに洗浄・消毒する。



車両の洗浄・消毒



荷台の洗浄・消毒



運転席ペダルの消毒
(消毒スプレーを準備)

※足元マットは車外に出し、荷台と同様に、念入りに洗浄・消毒します。

ポイント
3-②

タイヤ
周りの
洗浄・消毒



タイヤの消毒については、**タイヤ溝、タイヤとタイヤの間**及び**タイヤハウス**も徹底して洗浄・消毒します。

ポイント
3-③

ドアノブ等
の
洗浄・消毒

ドアノブからウイルスが確認された
事例もあります。

ドアノブ等の小さな部分も徹底して、
洗浄・消毒をお願いします。



ポイント
4

農場に戻っ
た際の農場
入口消毒も
確実に

最終的には、農場内に病原体を持ち込まないことが最も重要です。
農場に戻った際も、動噴、消毒マット、消石灰帯等により入念に消毒しま
す。



(写真提供: 沖縄県)

☆農場外作業の衣類・長靴で豚舎内に入らないようにしましょう！！

★お問い合わせ先

中央家畜保健衛生所 0957-25-1331
県南家畜保健衛生所 0957-68-1177
吉岐家畜保健衛生所 0920-45-3031

県北家畜保健衛生所 0956-48-3831
五島家畜保健衛生所 0959-72-3379
対馬家畜保健衛生所 0920-54-2179